

全国保健師長会

群馬県支部

まにっつうしん

令和6年度 第2号



発行日

令和7年2月4日

支部長 永井 佳美

会員の皆様には、日頃より支部活動への御協力をいただきありがとうございます。
令和6年度も残りわずかとなり、保健師長会の行事もほぼ終了となりました。
今回は今年度に行われた主な行事について報告します。また、次年度総会の
日程（予定）が決まりましたので、最終ページにて御確認ください。

今後も、より効果的な支部活動となるよう、引続き皆様のご協力をよろしく
お願いいたします。

永井 佳美



1 令和6年度第2回支部研修会について

令和6年12月14日（土）、ぐんま男女共同参画センターにて開催されました。

講演内容は「ともに育ち合う保健師人材育成へのヒント～管理期保健師が元気になるために～」を
テーマに、群馬大学大学院保健学研究科教授の佐藤由美先生からご講義をいただきました。

34名の会員の皆様の参加のもと、グループワークでは講義の感想や人材育成で困っていること、
明日から取り組みたいこと等、積極的な意見交換をすることができました。

【感想】

市町村保健師

時代に合わせた保健活動が求められる中、保健師の活動
方法や人材育成方法、地域保健活動の展開方法に関する
研究をされている群馬大学佐藤教授の講義とグループ
ワークに参加することができました。

同じ管理期となられている方々とともに、同職種とし
て育ち合う人材育成に関して立ち止まり、振り返りを通
して、気づかされ、勇気づけられ、今後を考えられたこ
とがたくさんありました。

人材育成は「後進を育てる」ということに重きが置か
れがちです。しかし、1つの事象を通じて係員を育てながら、どのような市民を、事業を導いていけるか
を検討する毎日です。職位に見合った役割を果たす中で、自分自身、係員にも育てられていると実感
し、「ともに育ち合う保健師人材育成」という言葉の奥深さを振り返ることができました。講義の中で
「中堅期の壁」というインパクトある言葉を伺いましたが、私も人材育成の醍醐味を味わいつつ「管理
期の壁」を皆さんとともに乗り越えていきたいと思いました。また次回皆様にお会いできる日を楽しみ
にしております。



【皆さんの声】

講義の感想

- ・「所属の保健師全体で人材育成を行う」というところが印象的だった。「中堅期の壁」に共感。
- ・業務の伝達ではなく、業務を通して保健師の能力を伝えて行くことが大事。
- ・保健師の人材育成について言語化することが難しい横路をととてもわかりやすく伝えていただいたので、少しモヤモヤしているところに光が見えた気がします。



- ・「中堅の壁」自身が乗り越えられているか。
- ・キャリアプラトーンを乗り越えた経験の内容がよくわかり、とても良かった。
- ・ふり返りながら、話し合いながら、次にいかす。職場全体がこうなるといいなと思います。
- ・みんな同じレベルにと考えてしまいがちだが、個々の持つ力に合わせた役割でいいのだと気付かされました。

育成で困っていること

- ・自分が受けてきた教育とのギャップが大きすぎて、指導方に戸惑う。
- ・獲得できていない能力を OJT でどの様に支援していくかが難しい。
- ・中堅期の不在で、業務の細かいところの指導が難しい。
- ・職歴のある後輩の育成。キャリアをどう生かすか。
- ・キャリアラダーの当てはめ方。できている、できていないの判断。本人の評価との差。
- ・やる気を育てること。
- ・「背中を見ては育てない」やっぱりそうですね。でも指示を忘れてしまう。



明日から取り組みたいこと

- ・自分の職場でできる OJT を考えることは、見える化につながりやりやすそう。
- ・忙しいなかでもコミュニケーションを取ることに。
- ・褒めるときは、一対一で。ここが良かったを伝えていきながら。
- ・人材育成は職場全体で担うという意識を持つ。周囲にも意識の醸成を図る。
- ・目指すべき保健師像を語り合う。
- ・組織としての配置もあるが、本人の希望も取り入れて行ければいいと思う。
- ・人材育成は、全員一律にしなくても良い。その人ができる業務を考えて育成していきたい。
- ・リフレクションの継続。日々の声かけ。打合せ前の実践。
- ・「なぜ」「どうして」の使い方に気を付ける。



アンケートの感想やご意見

- ・人材育成について考える良い機会になりました。自分の学生時代と現在の教育課程も変化していることを改めて実感し、他者と比べるのではなく、競争する相手は自分となるようなことを後輩に伝えたいです。気持ちのモヤモヤがスッキリして明日から自分も仲間と共に成長したいと前向きになりました。ありがとうございました。
- ・「みんな悩んでいるとわかったこと」、「人材育成は全員を一律にしなくてもよいという先生の言葉」で気持ちが楽になりました。ありがとうございました。
- ・負担なく参加できるよう（グループワークの発表省略など）ご配慮いただきましてありがとうございました。



2 北関東・甲信越ブロック研修会（担当：新潟市支部）

- (1) 日時 令和6年10月12日（土）13:30～16:00 ハイブリット形式
- (2) 内容 ①全国保健師長会活動報告（全国保健師長会事務局）全国保健師長会長 前田香氏
②令和5年度地域保健総合推進事業費研究事業 同上
③全国保健師長会(独自)調査研究事業の結果報告 同上
④講演「行政保健師の人材育成～共に育つ組織をめざして～」
講師 新潟青陵大学大学院看護学研究科/大学看護学部看護学科
教授 坪川トモ子氏
⑤グループワーク「共に育つ組織をめざして」
～リーダー保健師としてここがけていること、これからやりたいこと～

講演は、今どきの若者の特徴と向き合い方、心理的安全性を担保した環境づくりなど、具体的でとてもわかりやすい内容でした。グループワークでは各地域の取り組みや課題を共有でき、貴重な機会となりました。なお、研修報告は全国保健師長会ホームページにアップされます。また、研修資料は活動実践事例集にも盛り込まれるそうです。

3 令和6年度全国保健師長会代議員総会及び研修会（担当：福井県）

- (1) 日時 令和6年11月9日（土）9:30～15:45 ハイブリット形式
- (2) 内容 ・総会議事、石川県からの震災後の現状報告等
①基調講演「次期統括保健師の育成 ～管理期に向けた中堅保健師の人材育成～」
茂木 りほ先生（国立保健医療科学院生涯健康研究部 主任研究官）
②実践報告「管理期に向けた中堅期の育成 ～中堅期保健師の自己効力感を高める働きかけ～」
池田 裕美 氏（大分県福祉保健部健康政策・感染症対策課 地域保健推進監）
③大阪府における管理期に向けた中堅期保健師の人材育成
～管理期のコンピテンシーモデル作成の取り組み～
田中 佐代子 氏（大阪府健康医療部健康医療総務課 課長補佐）

基調講演では、統括保健師が行う中堅期保健師の管理期に向けた人材育成について調査をした結果として、次の4点について紹介がありました。①事業化・施策化能力を向上させる、②行政的能力を向上させる、③次期管理職（統括保健師）になることを早期から意識させる、④中堅期保健師が抱える状況を理解し過度なプレッシャーを与えずモチベーションを向上させる。他に、大分県、大阪府から実践報告が行われ、とても興味深い内容でした。

●研修資料はこちら→ [全国保健師長会 | こんな活動しています](#)

4 令和7年度全国保健師長会県支部総会及び研修会について【重要！】



- ①開催日 令和7年6月7日（土） 午前10時から
- ②場 所 **ぐんま男女共同参画センター**
- ③内 容
 - ・令和7年度全国保健師長会群馬県支部総会
 - ・第1回支部研修会（詳細については後日連絡いたします。）

会員の皆様の積極的な参加をお願いいたします。

未加入の方がお近くにいらっしゃいましたら、是非お声かけください。

顔を合わせながら、情報交換をしたり日頃の悩みを言い合えたりする貴重な場です。

コロナ禍がきっかけで、本会の魅力を再認識することができたと感じています。

役員一同、その魅力を高められるよう引き続き努力してまいります。

今後とも本会活動へのご理解、ご協力をお願いいたします。

体調管理に気をつけ、年度替わりを乗り切りましょう。
皆さん、ご自愛ください。

